

大谷學報

第二十四卷 第五號

昭和十八年十月三十日發行

魏書釋老志に於ける

佛教傳來説に就いて

松本文三郎 (一)

解深密經の成立構造の研究 (三)

西尾京雄 (一七)

上宮御製疏に就いて

富貴原章信 (四二)

大谷大學

大谷學會

大谷研究年報

第二輯 (A5版三八〇頁) 價三・八〇

親鸞聖人と涅槃經

安井 廣度

中觀學派の綱要書

山 口 益

佛教經典史に於ける華嚴・如來性起經について

西尾 京雄

元代道佛二教の確執

野 上 俊 靜

阿含の實賤道に於ける自覺の問題

舟 橋 一 哉

——見・修・無學・三道説の成立過定を論ず——

第一輯 (A5版三三五頁) 價三・五〇

發刊の辭

關 根 仁 應

佛教生活の受動性

鈴 木 大 拙

教行信證研究序説

稻 葉 秀 賢

高仙芝事跡考

諏 訪 義 讓

人口の社會形態學的作用と都鄙教團

福 井 元 澄

古神道の基本的性格

徳 重 淺 吉

前號要目 第二十四卷

佛道の問題

山田契誠

山西省澤州及び高平の石佛調査

道端良秀

今昔物語集に現はれたる淨土信仰に就いて

橘次郎

次號要目 第二十四卷

題未定

安井廣度

安慧造唯識三十頌釋譯註
調伏天造唯識三十頌釋疏

野澤靜證

圓測撰深密經疏・西藏譯に就て

稻葉正就

昭和十八年十月二十日印刷 第二四卷
昭和十八年十月三十日發行 第四號

Ⓢ定價金五拾錢 (郵稅八錢)

編輯兼 大谷學會
發行者 右代表者 山邊習學

印刷者 代表者 宮崎勇治
(西京七)内外出版印刷株式會社
京都市西朝院通七條南

發行所 京都市烏丸頭 大谷學會
大谷大學内 振替 大阪六七一八五番

配給元 東京市神田區淡路町二ノ九
日本出版配給株式會社

大谷學會會費

甲會員 年額前納 金五圓

〔大谷學報〕と〔大谷大學研究年報〕
とを頒布)

乙會員 年額前納 金參圓
(〔大谷學報〕のみ頒布)

大谷學會々則

- 第一條 本會ハ大谷學會ト稱シ、事務所ヲ大谷大學内ニ置ク
 - 第二條 本會ハ大谷大學樹立ノ精神ニ基キ佛教學、哲學、史學及ヒ文學ニ關スル諸般ノ研究ヲナスヲ目的トス
 - 第三條 本會ノ會員ハ(甲)大谷大學ノ專任教職員、研究科並ニ學部學生(乙)大谷大學ノ囑託教職員豫科専門部學生々徒ヲ以テ組織スソノ他本會ノ趣旨ニ賛同シ所定ノ會費ヲ納ムル者ハ(甲)又ハ(乙)會員ニ準ス
 - (乙)會員ハ希望ニヨリテ(甲)會員タルコトヲ得
- 第四條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
- 一、年六回、雜誌「大谷學報」ヲ刊行シ全員ニ頒ツ
 - 二、年一回「大谷大學研究年報」ヲ刊行シ(甲)會員ニ頒ツ
 - 三、毎年秋季ニ大會ヲ開ク
 - 四、隨時圖書ノ出版ヲナス
- 第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、會長 大谷大學々長ヲ推ス
 - 二、理事 大谷大學々監ヲ以テ任ス
 - 三、委員 若干名會長ノ指名トシ任期ヲ二ケ年トス
- 第六條 役員ノ職責左ノ如シ

一、會長ハ本會ヲ代表シ委員會ヲ總理ス

二、理事ハ會長ヲ補佐ス

三、委員ハ本會ノ諸事業ヲ企劃シ實行ス

第七條 會費トシテ甲會員ハ年額金五圓、乙會員ハ年額金參圓ヲ納ムルモノトス

第八條 本會則ハ委員會ノ決議ニ依ラサレハ變更スルヲ得ス

附則 一、本會ハ佛教研究會ヲ繼承ス

二、各研究室關係ノ學會ハ本會ニ屬スルモノトス

三、本會則ハ昭和十七年一月ヨリ實施ス 以上

大谷學會役員

會長	齋 含雄
理事	飯田 法遠
委員	稻葉 秀賢 (主任) 大友 芳雄
	長谷川正三 坂本 弘
	諏訪 義讓 龍山 章眞
	橘 純孝 外村 完二
(補助)	荷葉 堅正 藤島 達朗
	山田 亮賢 吉田嘉一郎
	金子 大榮
	鈴木 弘
	多屋 頼俊
	中田勇次郎
	山口 益